

第32回（令和8年度第1回）東松山市地域公共交通会議 次第

令和8年7月31日（金）

14時～

市庁舎3階 全員協議会室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

- (1) 公共交通の利用状況について
- (2) 令和7年度地域公共交通計画に係る事業の実施状況について
- (3) 令和8年度地域公共交通計画に係る事業計画について
- (4) その他

4 その他

5 閉 会

東松山市地域公共交通会議委員名簿

	機 関 名	役職名		選出区分
1	東武鉄道 株式会社	東松山駅長	ミヤハラ マサヒロ 宮原 正浩	市長が必要と認めるもの
2	川越観光自動車 株式会社	運輸部 主任	ヤマグチ マサ オ 山口 昌男	一般乗合旅客自動車運送事業者
3	国際十王交通 株式会社	運輸部 課長	ツノダ マコト 角田 誠	一般乗合旅客自動車運送事業者
4	有限会社 東松山交通	代表取締役	サイトウ タカユキ 齋藤 隆行	一般乗用旅客自動車運送事業者
5	イグチ交通 株式会社	代表取締役	ナカジョウ ヤスコ 仲條 靖子	一般乗用旅客自動車運送事業者
6	観光タクシー 有限会社	常務取締役	スギモト タイショウ 杉本 大將	一般乗用旅客自動車運送事業者
7	一般社団法人 埼玉県バス 協会	専務理事	セキネ ハジメ 関根 肇	一般社団法人埼玉県バス協会
8	一般社団法人 埼玉県ハイ ヤー・タクシー協会	専務理事	コイケ タケン 小池 毅	一般社団法人埼玉県ハイヤー・タク シー協会
9	川越観光自動車 株式会社 労働組合	委員長	モリムラ マサトシ 森村 正寿	一般旅客自動車運送事業者の事業用 自動車の運転手が組織する団体
10	国土交通省 関東運輸局 埼 玉運輸支局	首席運輸 企画専門官	ノブサ ヒロキ 野房 宏規	埼玉運輸支局長又はその指名する者
11	国土交通省 関東運輸局 埼 玉運輸支局	首席運輸 企画専門官	トバ タカシ 鳥羽 隆史	埼玉運輸支局長又はその指名する者
12	東松山県土整備事務所	副所長	ナカムラ マサヒロ 中村 雅彦	道路管理者
13	東松山警察署 交通課	課長	マツモト カズユキ 松本 和之	埼玉県警察
14	東京電機大学 理工学部	教授	タカダ カズユキ 高田 和幸	学識経験者
15	公益社団法人 比企青年会 議所	理事	セキグチ ヨシキ 関口 喜希	住民又は利用者の代表
16	東松山市 交通安全母の会	会長	オオクボ カツコ 大久保 勝子	住民又は利用者の代表
17	車いす友の会	代表	タキザワ トモヨシ 瀧澤 知良	住民又は利用者の代表
18	東松山市自治会連合会	会長	ワカバヤシ シンゲル 若林 茂	住民又は利用者の代表
19	埼玉県 企画財政部 交通政策課	主査	オオシマ キヨヤス 大嶋 清泰	市長が必要と認めるもの
20	東松山市(特別職)	副市長	ヤマグチ カズヒロ 山口 和彦	市長又はその指名するもの

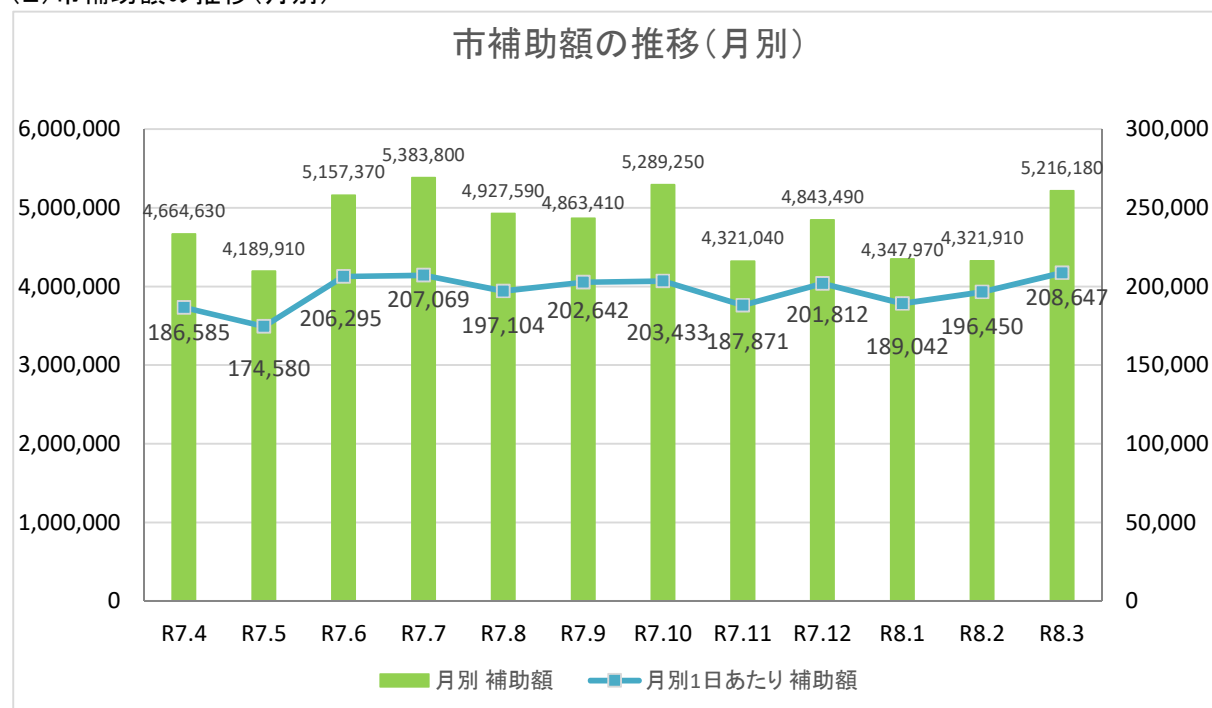
デマンドタクシーの利用状況について

(1) 市補助額及び利用件数の推移

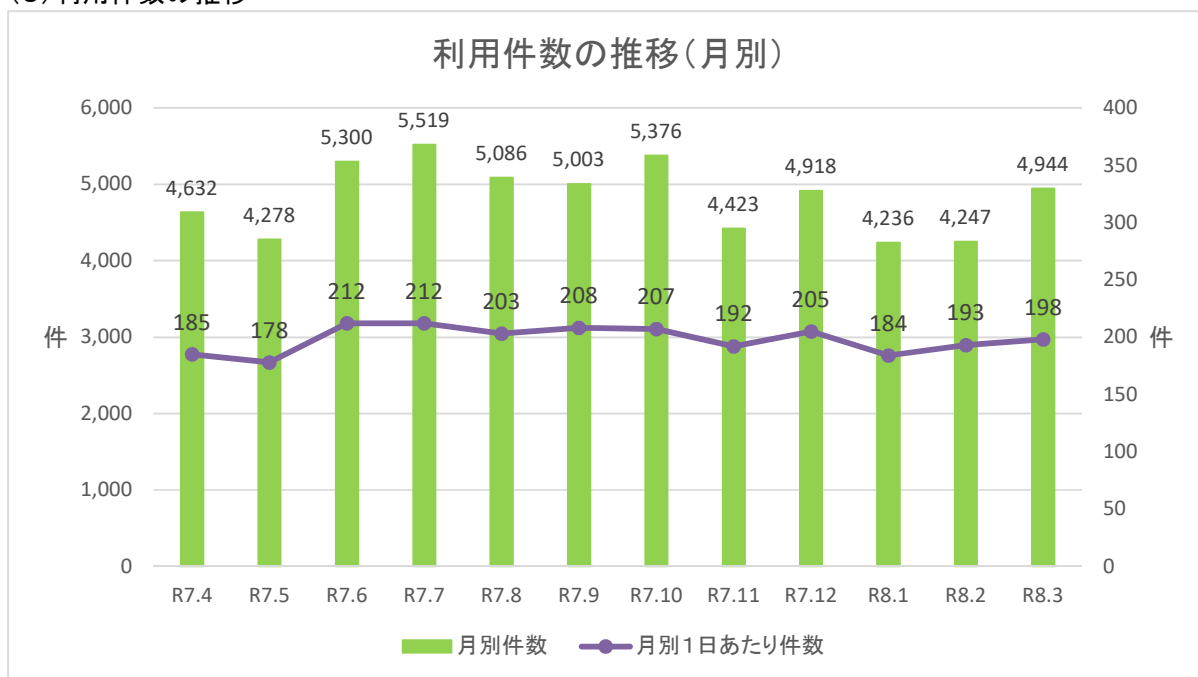


・R5年度から、前年度に比べて利用件数は減少しているが、市補助額は増加している。

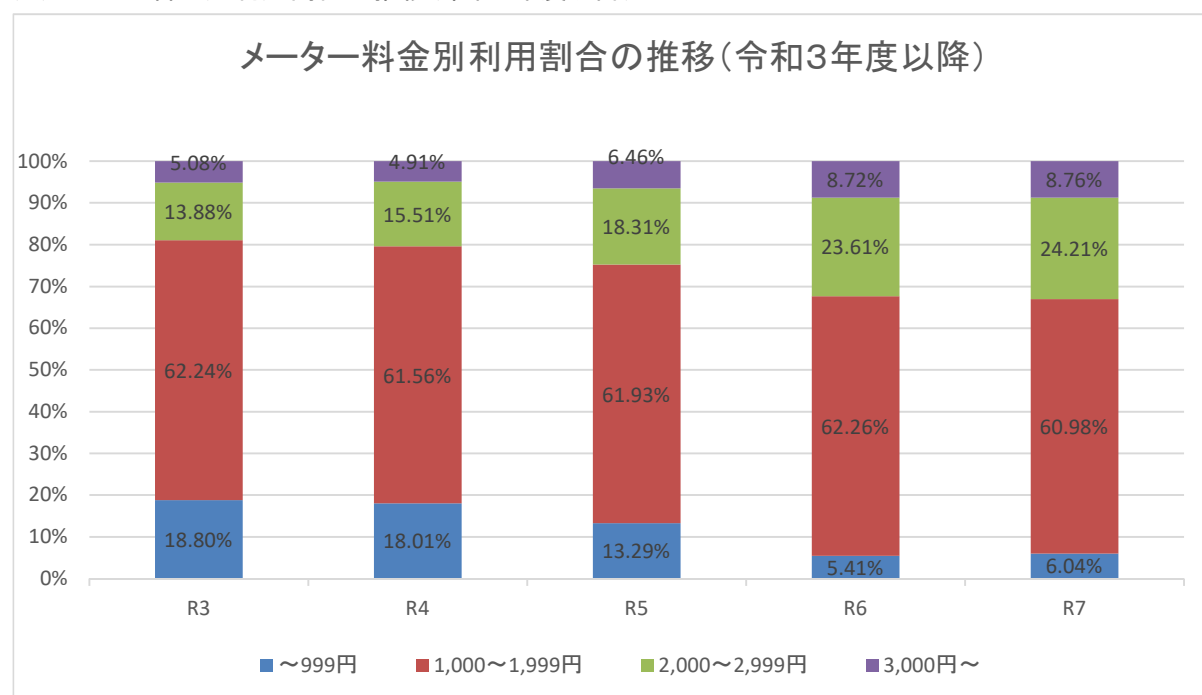
(2) 市補助額の推移(月別)



(3) 利用件数の推移



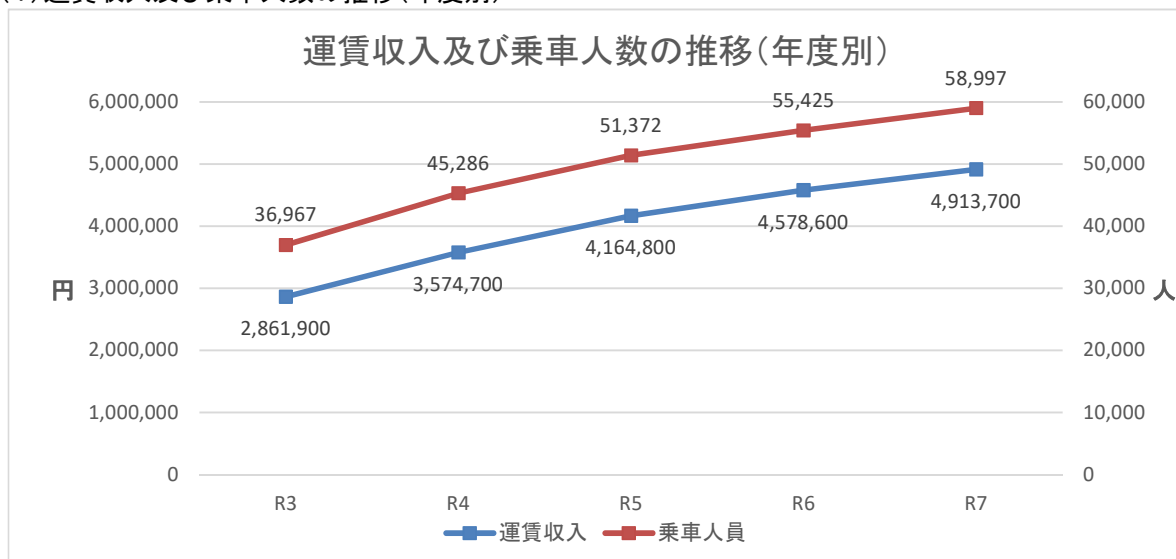
(4) メーター料金別利用割合の推移(令和3年度以降)



- ・R5.11及びR8.3にタクシー運賃改定有り。
- ・2,000～2,999円が増加傾向

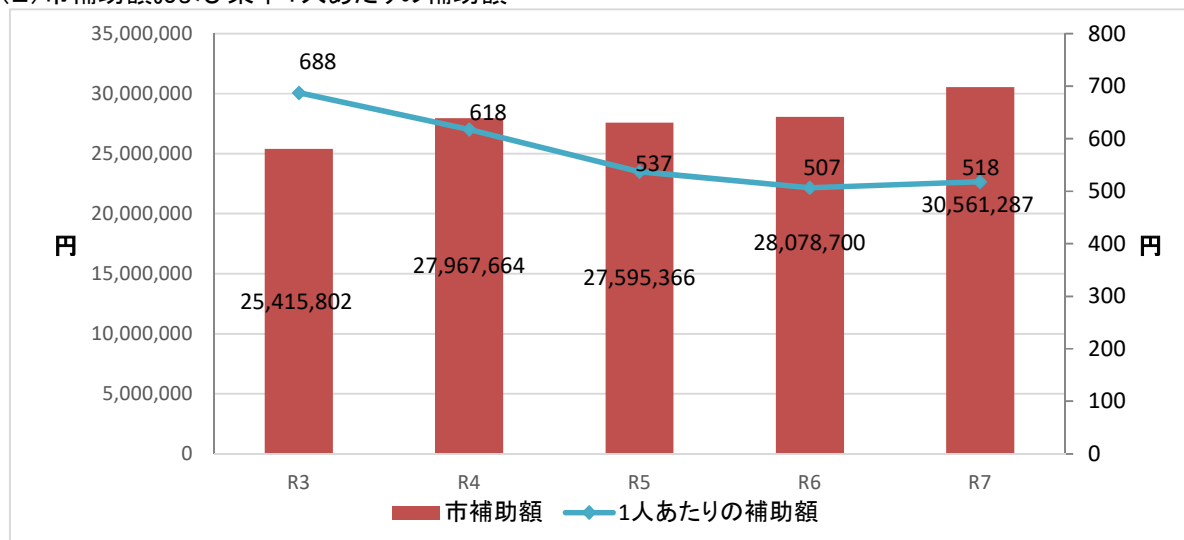
市内循環バスについて

(1) 運賃収入及び乗車人数の推移(年度別)



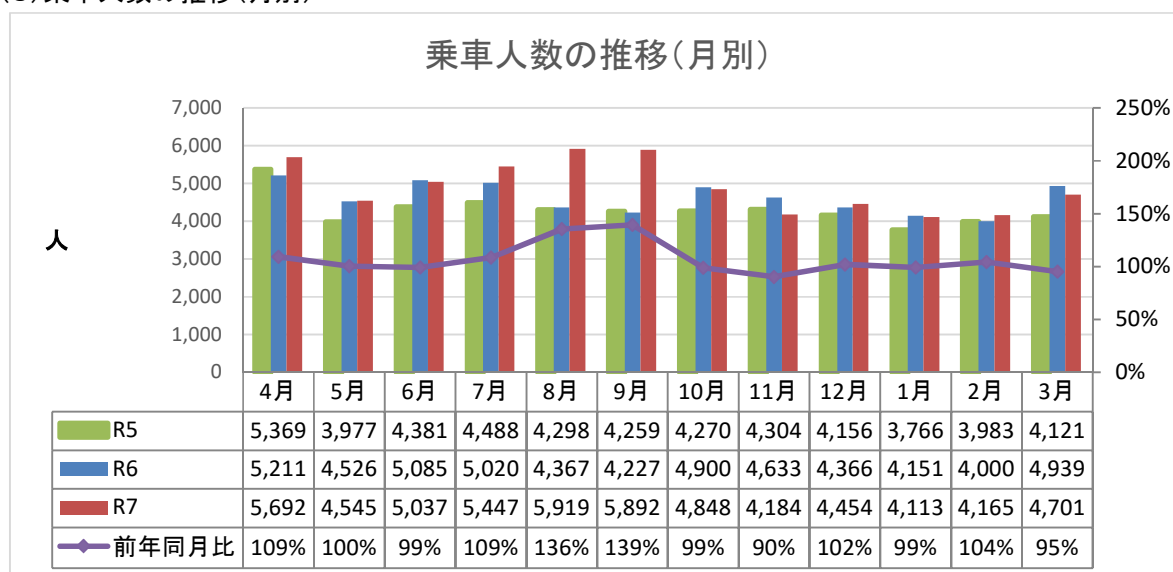
・運賃収入、乗車人数ともに増加傾向。

(2) 市補助額および乗車1人あたりの補助額



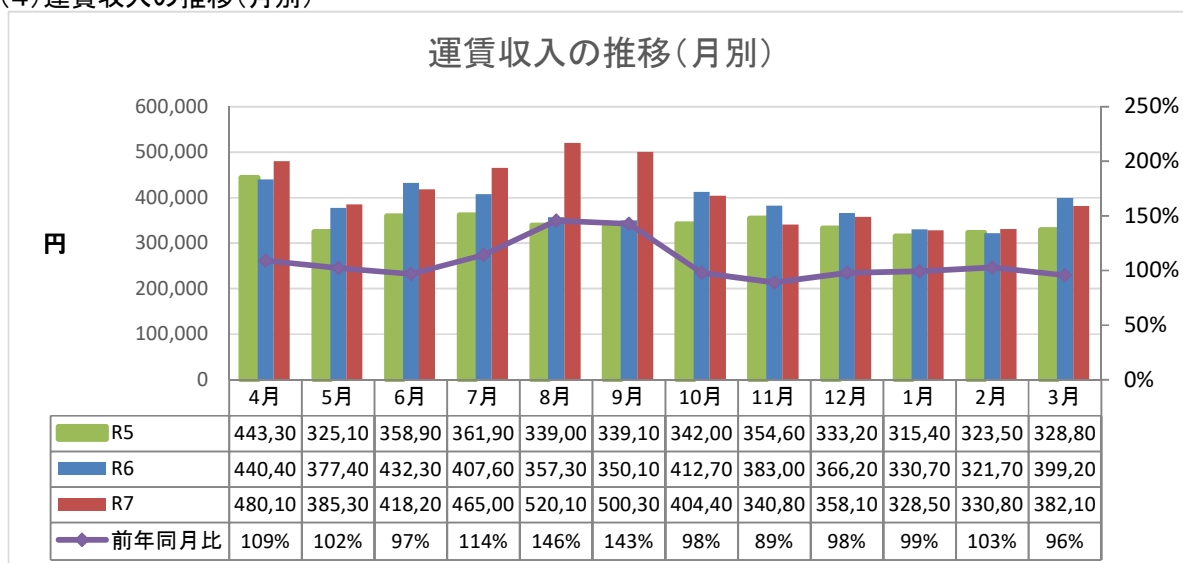
・市補助額は増加傾向

(3) 乗車人数の推移(月別)



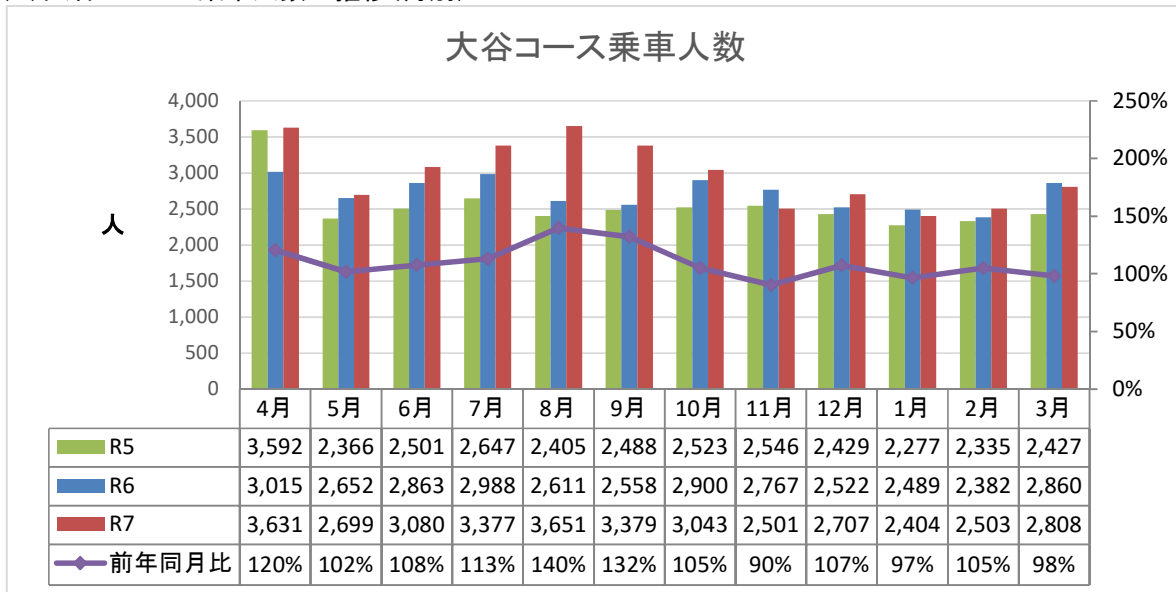
・乗車人数は、8月、9月が顕著に増加。

(4) 運賃収入の推移(月別)



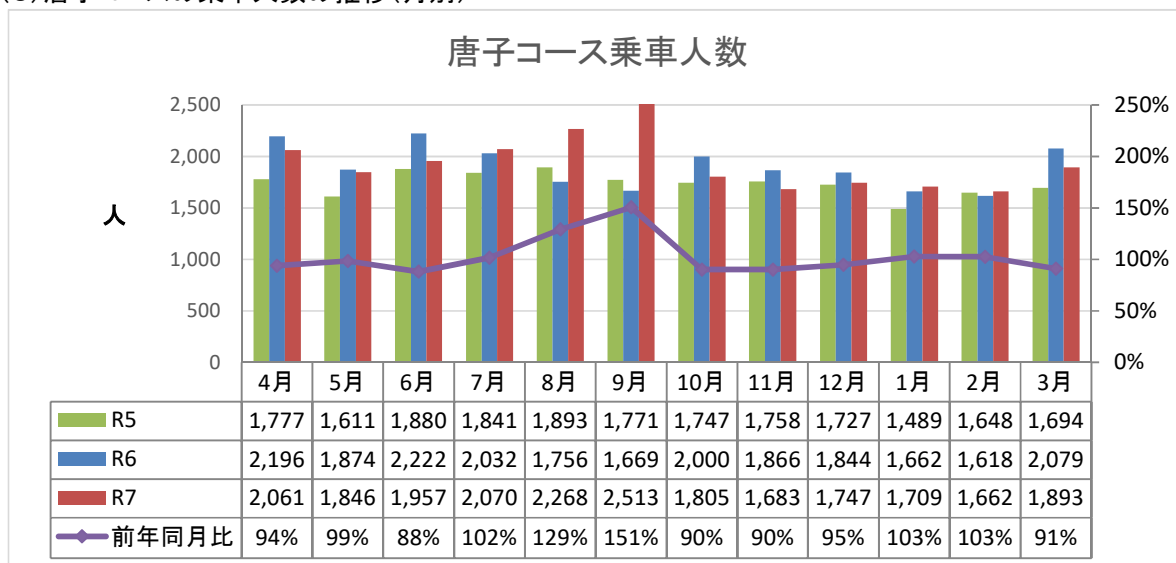
・運賃収入は、8月、9月が顕著に増加。

(5) 大谷コースの乗車人数の推移(月別)



・大谷コースの乗車人数は、11月、1月、3月を除き増加傾向。

(6) 唐子コースの乗車人数の推移(月別)



・唐子コースの乗車人数は、月によって増減の違いはあるが、全体として増加傾向。

・9月が顕著に増加。

令和 7 年度東松山市地域公共交通計画目標達成度の評価

目標			目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組
1 まちづくりと連携した公共交通ネットワークの形成・維持	指標 1－1 居住誘導区域内における公共交通利用圏域の割合 現状【H30年度】88% →目標【R10年度】現状維持		■事業 1－② 路線バスの維持・利便性 向上 ■事業 1－③ 市内循環バスの運行、見直し、利用促進 ■事業 1－④ デマンドタクシーの運行、見直し	R5年度東松山市立地適正化計画の評価	・【R4年度】88% ・現状維持	直近（R4）の数値は現状維持となっているが、公共交通の維持のため利用促進を行う。
	指標 1－2 公共交通に対する市の財政負担額及び負担割合	①市内循環バスにおける市の年間負担額 現状【R4年度】約2,797万円/年 →目標【R10年度】現状維持		R7年度利用実績	・【R7年度】約3,056万円/年 ・259万円増	利用者数及び運賃収入は増加傾向にあるものの、運行経費の増加により市の財政負担額も増加している。このため、今後も利用状況や収支状況を継続的に分析し、持続可能な事業運営に向けて運賃体系の見直しについて検証を行う。
		②デマンドタクシー利用 1件あたりの市の負担額 現状【R4年度】約797円/件 →目標【R10年度】現状維持		R7年度利用実績	・【R7年度】約992円/件 ・195円増	持続可能な事業運営に向けて、市の財政負担割合の上昇を抑制することが課題である。利用状況や収支状況を継続的に分析し、受益者負担と公費負担の適切なバランスについて検証を行う。
		③デマンドタクシー利用に係る市の財政負担割合 現状【R4年度】50% →目標【R10年度】現状維持		R7年度利用実績	・【R7年度】約53.2% ・3.2%増	
2 誰もが分かりやすく、快適に移動できる環境の整備	指標 2 交通の利便性の満足度 現状【R4年度】32.3% →目標【R10年度】34%		■事業 1－② 路線バスの維持・利便性向上 ■事業 1－③ 市内循環バスの運行、見直し、利用促進 ■事業 1－④ デマンドタクシーの運行、見直し ■事業 2－② 駅前広場の整備等 ■事業 3－① バス待合環境の充実 ■事業 4－① ノンステップバス車両の導入促進 ■事業 4－② ユニバーサルデザインタクシー車両の導入促進 ■事業 5－① 観光客向けの案内・情報提供の充実	R6年度市民意識調査（隔年実施）	・【令和6年度】35.5% ・3.2%増	交通の利便性の満足度は35.5%となり目標値を達成したが、更なる満足度向上に向けて、利用しやすい公共交通環境の整備や情報発信の充実に取り組む。
3 みんなで支える公共交通の構築	指標 3 鉄道、路線バス、市内循環バスの1日平均利用者数 現状【R4年度】55,593人 →目標【R10年度】現状維持		■事業 1－② 路線バスの維持・利便性向上 ■事業 1－③ 市内循環バスの運行、見直し、利用促進 ■事業 1－④ デマンドタクシーの運行、見直し ■事業 2－② 駅前広場の整備等 ■事業 3－① バス待合環境の充実 ■事業 4－① ノンステップバス車両の導入促進 ■事業 4－② ユニバーサルデザインタクシー車両の導入促進 ■事業 5－① 観光客向けの案内・情報提供の充実 ■事業 6－① 公共交通（バス）マップの充実 ■事業 6－② 公共交通に対する市民意識の醸成 ■事業 6－③ シルバー・サポーター制度の周知等	鉄道 51,470人（東武鉄道HP） 路線バス 8,548人（統計ひがしまつやま） 市内循環バス 202人（R7年度利用実績）	・【令和7年度】60,220人 4,627人 増	鉄道、路線バス及び市内循環バスの利用者数は60,220人となり目標値を上回った。今後も公共交通を地域全体で支えていくため、利用促進や利便性向上に取り組み、利用者数の維持・増加を図る。

令和7年度東松山市地域公共交通計画に係る事業の実施状況

資料 2 - 2

事業			事業の実施状況等
事業 1 公共交通ネットワークの 形成・維持に関する事業	1 - ① 鉄道の輸送サービス・利便性向上	輸送サービス・利便性向上に向けた取組	■輸送サービス・利便性向上に向けた要望書を提出 東上線東松山・寄居間利便性向上推進協議会が東武鉄道へ輸送サービス・利便性向上に向けた要望書を提出した。
	1 - ② 路線バスの維持・利便性向上	利用促進	■バスの乗り方教室の開催 11月22日、東松山産業祭にてバスの乗り方教室を開催し、展示車両の乗車体験、車内において動画によるバスの乗り方の説明等を行い、公共交通の利用の呼びかけを実施した。 ■学生やシニア層を対象とした企画乗車券の販売 毎年、民間バス事業者において、学生を対象としたお得なフリーバスや70歳以上の高齢者を対象とした定額乗り放題の定期券を販売している。
		利便性向上に向けた取組	■時刻改正や運行本数の維持 利便性向上を目的に時刻改正を実施した。また、既存路線において、民間バス事業者 2 社による共同運行を導入し、運行本数の維持を図った。
	1 - ③ 市内循環バスの運行、見直し、 利用促進	運行・利用促進	■運行の継続 市内循環バスの安全・安定的な運行を継続するとともに、運行ルートやダイヤの定着、市ホームページ等を活用した情報発信に取り組み、利用者数は前年度を上回った。
		利便性向上に向けた取組	■利便性向上に向けた取組 市ホームページで市内循環バスの乗り方やバスロケーションシステムに関する情報発信を行うとともに、デマンドタクシーから市内循環バスへの乗継割引を継続して実施した。また、乗換案内サービスへのコミュニティバス情報の掲載により、利用者の利便性向上を図った。
	1 - ④ デマンドタクシーの運行、見直し	運行	■運行の継続 デマンドタクシーを継続して運行することで、高齢者等をはじめとする住民の移動手段を確保し、日常生活における移動を支えた。利用者数は前年度を下回ったものの、高齢者向けイベント等を活用した周知により、新規利用者の掘り起こしを図った。
		利便性向上に向けた取組	■利便性向上に向けた取組 令和8年度からの割引制度拡充に向けて、利用状況や料金体系の検証を実施した。また、利用促進と利便性の向上を図るため、乗継案内や利用料金の割り勘方法を解説した動画、ならびに乗降ポイントマップを市ホームページに掲載した。
	1 - ⑤ 地域の移動資源の活用	地域の輸送資源の活用	■地域の輸送資源活用に向けた情報収集 自家用有償旅客運送及びライドシェアに関する制度や先進事例等の情報収集を行った。
事業 2 交通結節点に関する事業	2 - ① 案内機能の充実	案内機能の充実	■案内機能の充実 市ホームページにバスロケーションシステムの案内、市内循環バスの乗り方動画及びデマンドタクシー乗降ポイントマップを掲載し、公共交通に関する情報提供の充実を図った。
	2 - ② 駅前広場の整備等	利用しやすい環境の維持	■駅前広場の維持管理 東松山駅及び高坂駅の駅前広場において、日常清掃業務やフラワーサポーターによる花壇整備、見通しを確保するための樹木剪定を実施し、利用しやすい環境の維持を図った。
		利便性向上に向けた整備	■東松山駅西口周辺の都市計画道路の事業進捗状況の把握 東松山駅西口広場の整備に向け、都市計画道路駅前西通線の事業進捗状況を把握した。

事業			事業の実施状況等
事業 3 バス待合環境、利用環境に関する事業	3 - ① バス待合環境の充実	バス停の整備	■バス停整備の検討 市内循環バスにおいては、バス停上屋やベンチ等の新たな整備は実施していない。
		バスまちスポット・まち愛スポットの登録促進	■公共施設・店舗等への登録呼びかけ 市内循環バスのバス停付近にある施設へ登録の呼びかけを実施し、令和7年11月に東松山箭弓郵便局がバスまちスポットに登録された。
	3 - ② 駐輪場設置の検討	駐輪場の設置	■駐輪場整備の検討状況 駐輪場の新設等は実施しておらず、市、県及びバス事業者においても新たな整備予定はない。
	3 - ③ 走行環境改善	走行環境の改善	■バス走行ルート環境改善 バリアレス緑石導入の検討のため、バス走行ルートにおける道路整備計画箇所を確認し、工事の実施に合わせた導入の検討を依頼した。
事業 4 バリアフリーに関する事業	4 - ① ノンステップバス車両の導入促進	導入促進	■ノンステップバス車両の導入状況 令和5年度の補助事業によるノンステップバス車両の導入をもって、市内を運行する路線バスのノンステップ化が完了している。
	4 - ② ユニバーサルデザインタクシー車両の導入促進	導入促進	■県の補助制度の情報収集 埼玉県補助事業等について継続して情報収集を行った。
事業 5 観光に関する事業	5 - ① 観光客向けの案内・情報提供の充実	観光案内所との連携	■観光案内所における情報提供 東松山駅ステーションビル内の観光案内所において、市内循環バスの路線マップを配架するとともに、利用者の要望に応じて路線バスの時刻表を提供するなど、市内の観光施設や公共交通に関する案内を行った。
		分かりやすい案内表示	■利用状況の把握及び課題整理 令和7年度は多言語による案内表示の整備は実施していない。観光協会と観光案内所から利用状況の把握のためのヒアリングを実施し、課題について協議した。
	5 - ② 観光・商工関連団体と交通事業者の連携強化	観光・商工関連団体と交通事業者の連携強化・情報提供	■市内でのイベント開催の周知 市内で開催される夏祭り、スリーデーマーチ、産業祭等のイベント情報をタクシー事業者へ提供し、交通事業者との情報共有を図った。
事業 6 公共交通の利用促進に関する事業	6 - ① 公共交通（バス）マップの充実	公共交通マップの更新	■公共交通マップの更新に向けた検討 公共交通マップの更新に向けた検討を行ったが、令和7年度中の作成には至らなかった。
	6 - ② 公共交通に対する市民意識の醸成	利用促進に向けた取組	■公共交通に関する情報発信 市ホームページに広報紙の公共交通特集記事を掲載するなど、公共交通に関する情報発信や周知活動を実施し、公共交通の役割や利用方法に対する理解促進を図った。
	6 - ③ シルバー・サポーター制度の周知等	制度の周知・協賛促進	■制度の周知及び協賛促進 デマンドタクシー登録申請受付時の周知や市ホームページへの掲載、商工会会員への案内チラシの送付を通じて、シルバー・サポーター制度の周知及び協賛促進を図った。

	取 組	事 業	実施項目	事業スケジュール					R 8 取組内容（予定）
				R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	
形 公 成 共 ・ 交 維 通 持 ネ に ツ 関 ト す り ー 事 ク 業 の	1－① 鉄道の輸送サービス・利便性向上	輸送サービス・利便性向上に向けた取組	検討・協議	利便性向上に向けた取組の検討					■輸送サービス・利便性向上に向けた要望書の提出 鉄道に対する市民ニーズを把握し、東武東上線の輸送サービスやホームの安全性向上に向け、鉄道事業者と検討・協議を図る。
	1－② 路線バスの維持・利便性向上	利用促進	実施	実施					■利用促進に向けた情報発信等 SNSやイベント等を活用した情報発信を行うとともに、民間事業者によるお得なフリーバスの販売を継続し、路線バスの利用促進を図る。
		利便性向上に向けた取組	検討・協議	利便性向上に向けた取組の検討					■利便性向上に向けた取組 利用者の利便性向上を図るため、利用実態や利用者ニーズを踏まえたダイヤ改正を実施するとともに、バスロケーションシステムやホームページを活用した情報提供の充実を図る。
	1－③ 市内循環バスの運行、見直し、利用促進	運行・利用促進	実施	実施					■運行の継続及び利用促進 市内循環バスの安全・安定的な運行を継続するとともに、市ホームページによる周知を行い、市民への定着と利用促進を図る。
		利便性向上に向けた取組	検討・協議・実施	利用者ニーズを踏まえたルートやダイヤの見直し検討					■利用状況の把握 利用状況や運行経費を継続的に検証する。
	1－④ デマンドタクシーの運行、見直し	運行	実施	実施					■運行の継続 デマンドタクシーを引き続き運行することで、高齢者等をはじめとする住民の移動手段を確保し、日常生活における移動を支える。
		利便性向上に向けた取組	検討・協議・実施	料金体系の検討、乗車記録システム導入の検討					■割引制度の拡充 身体的な制約や運転免許証の返納等により日常の移動が困難となる市民に対し、移動支援の充実を図るため、割引制度の拡充を行う。
	1－⑤ 地域の移動資源の活用	地域の輸送資源の活用	検討・協議	活用事例の情報収集、必要性の検討					■自家用有償旅客運送・ライドシェアについての情報収集 既存の公共交通を最大限活用するとともに、自家用有償旅客運送・ライドシェアについての情報収集をする。
に 交 通 結 節 点 事 業	2－① 案内機能の充実	案内機能の充実	検討・協議・実施	現状の調査、機能充実に向けた協議					■案内機能の充実 市ホームページにおけるバスロケーションシステムの案内、市内循環バスの乗り方動画及びデマンドタクシー乗降ポイントマップの掲載を継続し、公共交通に関する情報提供の充実を図る。
	2－② 駅前広場の整備等	利用しやすい環境の維持	実施	実施					■委託業務等による駅前広場の維持管理 東松山駅及び高坂駅の駅前広場の日常清掃（委託業務）等による管理を継続して行い、利用しやすい環境を維持する。
		利便性向上に向けた整備	検討・協議	利便性向上に向けた整備の検討					■東松山駅西口周辺の都市計画道路の事業進捗状況の把握 東松山駅西口広場の整備に向け、都市計画道路駅前西通線の事業進捗状況の把握をする。

：検討・協議

：調整ができた第

：事業実施

地域公共交通計画に係る事業計画

	取 組	事 業	実施項目	事業スケジュール					R 8 取組内容（予定）
				R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	
バス 改 待 善 合 に 環 関 境 す、 利 用 業 環 境 の	3-① バス待合環境の充実	バス停の整備	検討・協議・実施	整備手法の検討					■バス停の状況把握 バス停の上屋やベンチの設置状況を把握する。また、バス停毎の利用状況把握のための調査方法を検討する。
		バスまちスポット・まち愛スポットの登録促進	実施	実施					■公共施設・店舗等への登録の呼びかけ 継続して「バスまちスポット」「まち愛スポット」の登録を推進することで、バス利用者の待合環境の改善を進める。
	3-② 駐輪場設置の検討	駐輪場の設置	検討・協議	利用者数の把握に関する検討・協議					■サイクルアンドバスライドの実施 市内循環バス及び路線バスの利用促進を図るため、市が管理する既存の公共施設駐輪場を活用したサイクルアンドバスライドの導入・実施を進める。
	3-③ 走行環境改善	走行環境の改善	検討・協議	工事計画の確認、現状の把握					■バス走行ルート of 環境改善 バス走行ルートの道路整備計画箇所の確認をする。
に バ 関 リ す ア る フ 事 リ 業 -	4-① ノンステップバス車両の導入促進	導入促進	実施	実施					■補助制度の情報収集、周知 令和5年度の補助事業によるノンステップバス車両の導入をもって、市内を運行する路線バスのノンステップ化が完了している。
	4-② ユニバーサルデザインタクシー車両の導入促進	導入促進	実施	実施					■県の補助制度の情報収集 埼玉県補助事業等について継続して情報収集をし、周知していく。
観 光 に 関 する 事 業	5-① 観光客向けの案内・情報提供の充実	観光案内所との連携	実施	実施					■観光案内所の利用状況の把握 利用者からの問合せや要望などから観光案内所の利用状況を把握し、観光客に利用しやすい環境づくりにつなげる。
		分かりやすい案内表示	検討・協議・実施	現状の調査、改善に関する協議					■駅の案内表示の状況の把握 外国人観光客にとっても利用しやすい環境づくりのため、多言語による分かりやすい案内表示を検討する。
	5-② 観光・商工関連団体と交通事業者の連携強化	観光・商工関連団体と交通事業者の連携強化・情報提供	協議・実施	関連団体への情報提供、連携のあり方の協議					■市内イベント情報の交通事業者への提供 商工観光課や観光協会、文化まちづくり公社と地域支援課が連携し、バスやタクシーの利用が多く見込まれる市内のイベント開催予定を共有する。
公 共 に 交 通 の 利 用 促 進	6-① 公共交通（バス）マップの充実	公共交通マップの更新	検討・作成	案の検討	作成・配布				■公共交通マップの更新に向けた情報収集 公共交通マップの更新に向けて、民間事業者による広告掲載や国の補助制度の活用、掲載内容等について情報収集を行い、国土交通省の「地域公共交通MAP作成の手引き」を参考に、利用者にとって分かりやすいマップの作成手法について調査・研究を行う。
			周知・P R						
	6-② 公共交通に対する市民意識の醸成	利用促進に向けた取組	事業検討・準備	実施事業の検討・準備					■利用促進に向けた情報発信・啓発 市ホームページやSNS、イベント等を活用した情報発信・周知活動を実施し、市民の公共交通に対する理解促進と利用促進を図る。
			実施						
	6-③ シルバー・サポーター制度の周知等	制度の周知・協賛促進	実施	実施					■制度の周知、事業所への協賛呼びかけ デマンドタクシー登録申請受付時、商工会会員へ案内チラシの送付による協賛呼びかけを行う。